

株主の皆様へ

2009年度
第108期
報告書

2009年4月1日

▼
2010年3月31日

目次

ごあいさつ	P1
主な経営指標(連結)	P2
セグメント別概況(連結)	P2
事業の概況	P3、4
株式の概況、会社の概況	P5
株主メモ	P6

ごあいさつ



取締役社長 服部 隆

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、機器用電線や通信用ケーブル、ワイヤカット放電加工機用電極線、およびフレキシブル基板（FPC）といった製品群を中心にして、開発設計から製造、販売までの一貫した電線関連事業を営んでおります。

2009年度（第108期）におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加、生産の持ち直し、企業収益の改善など、最悪期を脱し回復の兆しが出てきたものの、デフレ基調にあることや失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況で推移してまいりました。

電線業界においては、銅電線出荷量が電気機械、建設・電線販売部門など、すべての部門において前年度を下回るという低水準に落ち込みました。

このような経営環境の中、当社グループは引き続き、独自性を持った新製品の開発、営業体制や販売促進活動の強化、ITを利用した業務効率の改善などを積極的に進めてまいりました。

また、急激な受注減に対応するため操業の一部休止、残業の抑制、役員報酬および従業員給与のカット、諸経費の削減、設備投資の抑制などの施策を実施してまいりました。

しかしながら、当社の連結業績につきましては、売上高7,947百万円（前期比22.6%減）、営業損失814百万円（前年同期営業損失628百万円）、当期純損失899百万円（前年同期当期純損失1,258百万円）と大きく悪化いたしました。

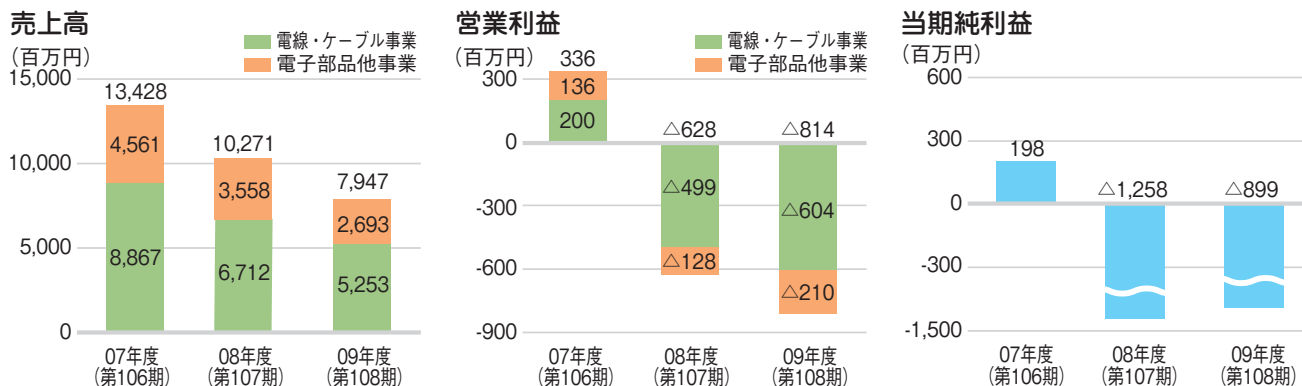
このような業績を踏まえ、当期配当につきましては誠に遺憾でありますが無配とさせていただきます。

今般、当社グループでは2010年度から2013年度までの中期経営計画を策定し『開化13』と命名いたしました。その重点課題として、「2010年度の黒字化」、「健全な収益体質の復元」、および「業容拡大への布石」に取組み、早期の業績向上に向けて尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月

主な経営指標（連結）



セグメント別概況（連結）

〔電線・ケーブル事業〕

売上高は、機器用電線は上期大きく落ち込んだものの、下期には工作機械メーカのアジア向け需要が増加したため上向きしました。

一方、通信用ケーブルは国内の設備投資抑制の影響により低調に推移しました。

また、放電加工機用電極線は下期に米州向け販売に注力しましたが、上期における大幅な受注減を補うことはできませんでした。

その結果、売上高は前年同期と比べ1,458百万円減の5,253百万円となりました。

営業損益につきましては、銅価格の低下や固定費の削減により改善しましたが、売上高の減少による利益減が大きく、前年同期499百万円の損失に対して604百万円の損失となりました。

〔電子部品他事業〕

売上高は、液晶関連製造装置向けフレキシブル基板や外資系企業向け統合配線システムが減少したため、前年同期と比べ865百万円減の2,693百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高の減少などにより、前年同期128百万円の損失に対して210百万円の損失となりました。

事業の概況

〔電線事業〕

電線事業におきましては、FA (Factory Automation) 市場向けの高屈曲ケーブル、マシンビジョン市場向けの高速画像インターフェースケーブル、インバータ駆動用の耐ノイズケーブルなどの開発に注力しております。

グローバル化が進むFA市場では、これまで以上にコストパフォーマンスを重視した製品が要求されています。

当社は高屈曲ケーブルとして独自開発した材料により屈曲性能とコストパフォーマンスを両立させたロボットケーブルを開発いたしました。

また、複数ケーブルの配線に用いられているケーブルベアを不要とする高屈曲並列ケーブル『ベアケーブル』を開発いたしました。

これにより配線コストの低減を図ることができます。

今後もお客様のご要望に応じて魅力ある製品を開発してまいります。



ベアケーブル

〔ワイヤーハーネス事業〕

ワイヤーハーネス事業は、主に産業機器用に使用される各種インターフェースケーブルを提供しております。

当社は、マシンビジョン化が進む産業装置に対応して高速・高精度な画像伝送用のデジタルインターフェースの分野に注力し、高屈曲性や高速伝送性に優れたカメラリンクケーブルを提供しております。

ロボット用ケーブルの設計技術を活用した高摺動タイプ・細径タイプ・高速タイプの製品に加え、伝送距離を従来の2倍に延長した『Clean Eyeケーブル』も新たに開発いたしました。

今後もさらに魅力ある製品の開発・提供に取り組んでまいります。



Clean Eyeケーブル

〔電極線事業〕

電極線事業におきましては、グローバルな市場シェア拡大に向けた取組みに注力しております。

海外市場、特に米国・欧州の部品加工業界では、高速加工可能かつ廉価な電極線が求められており、当社では高速加工と高面精度を両立させる独自の四層構造を持つ『亜鉛めっきワイヤ』を新規開発いたしました。

これにより、ワイヤカット加工の生産性向上、電極線使用量の削減、設備運用コストの圧縮を実現することができます。

国内市場では古河電気工業（株）殿から商標権を譲渡された『フルエース』の製造と販売を開始いたしました。従来の『OBワイヤ』との並行販売により、お客様のご要望に応えた商品をお届けしてまいります。



亜鉛めっきワイヤ

〔FPC事業〕

フレキシブル基板（FPC）事業におきましては、既成の観念にとらわれない『新奇品』の開発に取り組んでおります。

高信頼性を評価されて人工衛星に採用された『15m超長尺FPC』や、長尺化技術と高速伝送技術の融合から生み出された『長尺高速伝送FPC』、さらにはケーブル並みの機械強度を有する『堅牢FPC』など、新たな用途に展開できる製品を開発いたしました。

また製造方式につきましては、独自のパートリーロール工法、ツールレス工法に加え、部品実装までワンストップで対応するサービスを開始いたしました。

今後もお客様のご要望に応じて、魅力ある製品、サービスを提供してまいります。



堅牢FPC

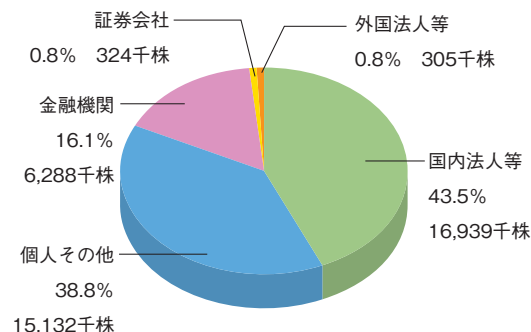
株式の概況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	37,282,342株 (自己株式1,708,528株を除く)
株主数	5,800名
大株主の状況	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	13,075千株	35.1%
明治安田生命保険相互会社	2,125	5.7
沖電線取引先持株会	1,638	4.4
株式会社損害保険ジャパン	1,000	2.7
株式会社みずほコーポレート銀行	575	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	514	1.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	300	0.8
沖ウィンテック株式会社	266	0.7
沖電線従業員持株会	234	0.6
みずほ信託銀行株式会社	218	0.6

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別の状況



会社の概況

設立
資本金
従業員数
主な事業内容

1936年7月16日

4,304百万円

319名 (2010年3月31日現在)

電線・ケーブル：機器用電線、放電加工機用電極線、通信ケーブル、光製品
電子部品他：フレキシブル基板、ワイヤーハーネス、統合配線システム、テナント

役員
(2010年6月29日現在)

取締役社長	服部 隆	取締役 来住 晶介
常務取締役	安岡 敏一	常勤監査役 笠井 紀明
取締役	深山 憲蔵	常勤監査役 池田 力
取締役	金澤 善一	監査役 下柿元 英夫
取締役	井上 正夫	

(注) 1. 取締役来住晶介氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役池田力、監査役下柿元英夫の両氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度
定時株主総会
基準日

4月1日から翌年3月31日まで

6月

定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

公告方法

電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告アドレス：<http://www.okidensen.co.jp/>

ホームページのご案内

ホームページでは、当社のニュース、製品のご紹介など様々な情報を掲載いたしておりますので、こちらでご覧いただけます。

<http://www.okidensen.co.jp/>

お知らせ

単元未満株式をお持ちの株主様へ

当社では単元未満株式の買取りのほか、買増しを請求できる制度を導入しております。

お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。



[本 社]

〒211-8585
川崎市中原区下小田中二丁目12番8号
☎(044) 766-3171

[工 場]

群馬工場

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270) 76-4311

岡谷工場

〒394-8686
長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号
☎(0266) 27-2255

[営 業 所]

仙台営業所

〒980-0802
仙台市青葉区二日町3番10号
グランチャリオビル
☎(022) 266-0855

群馬営業所

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270) 76-4300

長野営業所

〒394-8686
長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号
☎(0266) 27-1597

名古屋営業所

〒460-0003
名古屋市中区錦一丁目11番20号
大永ビル
☎(052) 201-2130

大阪営業所

〒564-0045
大阪府吹田市金田町5番18号
☎(06) 6337-2681

福岡営業所

〒810-0072
福岡市中央区長浜
一丁目1番35号新KBCビル
沖ウィンテック株式会社九州支店内
☎(092) 738-1685

[海 外 子 会 社]

日冲電線（常熟）有限公司
中国江蘇省常熟市辛庄镇張橋西環路19号
☎(+86) 512-5299-2059